

令和7年各務原市長選挙 立候補者アンケート

浅野 健司 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOなどの市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、各務原市のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

昨今、人口減少や少子高齢化の進展、市民のライフスタイルや価値観の多様化・複雑化などに伴い、様々な地域課題が顕在化するとともに、市民ニーズも多様化しています。

これらの課題に対応するため、本市では市民協働を「1丁目1番地」に位置付け、最上位計画である総合計画の基本目標1に「みんなが活躍する協働のまち」を掲げ、事業を展開しています。

現在、NPO等の皆様には、それぞれの特性や得意分野を活かし、まちづくりの担い手として活動いただいております。

市が目指す将来都市像「もっと、笑顔があふれる元気なまち」の実現のためには、NPO等の皆様との連携が不可欠と考えており、引き続き様々な分野で活躍いただくことを期待しています。

2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

各務原市では、「まちづくり活動助成金」など、NPO等の支援施策が行われています。今後もNPO等の活動をより推進していくために、活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は補助金やそれ以外にお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

活動支援策は必要であると考えます。

支援の流れとしては、「1. きっかけづくり」、「2. 活動支援」、「3. つながりづくり」の3段階で進め、具体的な施策として、「1. きっかけづくり」は、まちづくり体験講座や担い手育成支援事業などを、「2. 活動支援」は、まちづくり活動助成事業や課題解決セミナーやスキルアップセミナーなどを、「3. つながりづくり」は、交流会や担い手マッチング事業(NPOや学校、企業等とのマッチング)などを実施しており、今後も継続してまいります。

その他、まちづくり支援相談員によるよろず相談会の実施や各種情報の発信、必要備品の貸出などの支援につきましても継続してまいります。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「各務原市総合計画 前期基本計画(2025年から2029年) 基本目標1みんなが活躍する協働のまち《市民協働》」では、「対話によるまちづくり」や「協働によるまちづくり」について書かれています。今後も各務原市とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は自主的な活動の支援の他、協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

市とNPO等との協働関係の構築及び支援策についての考えは、1. NPOへの期待について、2. NPOへの活動支援策に記載のとおりです。

なお、現在市では、市とNPO等の関係に加え、NPO等同士の「つながりづくり」についても力を入れて取り組んでいます。

当市で令和2年度より開始したNPO等同士の「つながりづくり」を目的とした「まちづくり担い手マッチング事業」には、NPO法人のほか市民活動団体、クラブ・サークル、企業、高等学校のボランティア部などが多数参加しており、様々な分野でマッチングが行われ、活発なまちづくり活動を展開しています。

今後もNPO等との協働関係をより強固なものとし、更なる発展を目指して取り組んでまいります。

ご協力ありがとうございました。